

萩野小学校 児童安心・安全委員会だより

『絆～Bond～』

令和5年11月16日 NO.1

～はじめに～

「全校児童が安心・安全に学校へ通うことができる」

これは児童がもっている当たり前の権利です。そして、そのような学びの場をつくるのは学校の責務です。しかし、子どもですから、時には友達同士のトラブル等で嫌な思いをすることもあります。そんな時、萩野小学校は職員間で情報共有を図りながら問題解決に向けて全力で取り組みます。保護者の方とも連携しながら全校児童が安心・安全に通える学校を目指すためにこの『絆～Bond～』を発行します。

1. 児童安心・安全委員会とは

萩野小学校ではいじめ防止に関する措置を実効的に行うため「児童安心・安全委員会」が設置されています。

本委員会では、児童を徹底的に守り通すために児童、保護者、地域住民等からの相談・通報の窓口となり、必要に応じて委員会を開催し協議します。また、被害児童支援のため、いじめ解消に至るまでの対処プランを検討し、確実に実行します。

日常の児童の様子をご覧いただく中で、何かお気づきの点がありましたら気軽に萩野小学校（77-8255）までご連絡ください。

よろしく
お願いします

2. 「いじめ」って増えているの？

様々なメディアで「いじめの件数が過去最多」などの言葉を目にします。果たして、学校ではそんなにいじめが増えているのでしょうか。

そこには「いじめの積極的認知」という考え方が影響しています。

文部科学省は、いじめの認知について「各学校においては、いじめの問題に適切に対応するため、いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知する」とし、いじめの認知件数が多い学校について、「いじめ解消に向けた取組のスタートラインに立っている」と肯定的な見方をするようになりました。

「いじめの芽」「いじめの兆候」を積極的に「いじめ」として認知し、見落とさないようにすることが大切という考え方から、いじめの件数は増えているということになります。いじめの件数が多いから深刻な状況にあるとは決して言えないということをご理解ください。



いじめアンケート結果(10月)より

①今年4月から今日まで嫌な思いをしたことがある・・・10件

②今も嫌な思いをしている・・・4件

(嫌な思いをしている主な内容)

- ・呼び捨てにされる ・にらまれる ・すぐに怒ってくる
- ・話を聞いてくれない ・石を投げられたことがある

③友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある・・・19件

<アンケート実施後>

担任と学級児童の面談実施(アンケートの結果にかかわらず全員)



【児童安心・安全委員会】

○いじめアンケート結果の交流

○今も嫌な思いをしている(4件)の具体的な内容の把握

⇒ 重大事案ではないことを確認

○全職員への周知 ⇒ 全職員での経過観察および指導を実施

○北斗市教育委員会へ報告

～おわりに～

今回、『めざせ!!「いじめ見逃し」0!!』というリーフレットも同時に作成しました。いじめの早期発見や見逃さないためには児童の周りには大人の力が必要不可欠です。必ず内容をご確認いただきご協力いただきますようお願いいたします。